

胃瘻交換術についての説明と同意書

患者氏名 _____ 様

1 胃瘻交換の必要性について

- ・長期使用は、カテーテルの汚れや変更・破損などの原因となるため交換が必要です。
カテーテルの種類によって、交換時期の目安があります。

・バルン型 1～3ヶ月 ・バンパー型 約6ヶ月

*但し、カテーテルに問題が生じた場合は、随時交換が必要です。

2 胃瘻交換の方法

- ・古いカテーテルを抜いて、その瘻孔に新しいカテーテルをいれます。
- ・ほとんどは、経皮的交換が可能です。交換後、合併症をふせぐために内視鏡で確認します。
- ・カテーテルの種類を変更する事は、可能です。
- ・カテーテル抜去時、多少の痛みと出血があります。

3 操作に伴う合併症

① 交換に関連した合併症

- ・瘻孔破損に伴う腹膜炎・敗血症や、交換後の出血

② 誤挿入

- ・腹腔内後挿入～腹壁と胃壁が十分に密着していない場合に起こることがあります。
- ・横行結腸内後挿入～最初の造設時に穿刺針が横行結腸を貫いている場合があります。

***万一、合併症が起きた場合には最善の処置をしますが、患者さんは本来重篤な基礎疾患があり重症化する可能性があります。**

以上、胃瘻交換術について必要性・方法・危険性について説明しました。

年 月 日

医師名 _____

上記の内容を承諾し、胃瘻交換を行うことに同意します。

年 月 日

患者様氏名 _____

代理人様氏名 _____

医療法人健英会 うしいけ内科クリニック